
アーマードコア イレギュラーの軌跡

超高機動型AMIDA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アーマードコア イレギュラーの軌跡

【Zコード】

N1706W

【作者名】

超高機動型AMIDA

【あらすじ】

アーマードコアを原作中心で書いていくつもりだったけど

原作中心だと面白みが無いと思うので迷いながら書いていきます
初めての長編ですのでだめなところアドバイスを
もらえると嬉しいです

シリアルオンラインで行きます

萌えとか恋愛要素はないです

更新が遅くなったりしたときは検索からはずすので

あいこへお願ひごとあります

プロローグ（前書き）

8 / 27 次話ほど完成したので明日の朝投稿します

プロローグ

国家解体戦争から数十年の未来。

支配者たる企業は、自らが汚染し尽した地上を見限り、

航空プラスチックホーム、クレイドルを建造。

高度7000mの空に、新しい、清浄な生活空間を見出していた。

既に、人類の過半はクレイドルに住まい、地上は、資源基地と、

それを巡る戦いの部隊に過ぎなかつた。

一方で、国家解体戦争において企業支配体制を確立した原動力
人型兵器アーマードコア「ネクスト」と、搭乗者「リンクス」は
その圧倒的な力の、固体依存性に危機感を抱いた企業により
企業機構「カラード」管下の傭兵として、地上に残された

今や、企業軍の主戦力は、巨大兵器アームズフォートであり
かつて戦場を支配したネクストたちは
薄汚れた地上で延々と続けられる、経済戦争の尖兵と成り果てていた

・・・そして人類に大きな影響を与えることになる一人のリンク
スが生まれようとしていた

プロローグ（後書き）

今日作者の誕生日です
・・・どうでもいいか

第一話（前書き）

もしも僕がとかばつて、たりしたら、書かれてください
すぐさま直します

第一話

あるコロニーに一人の少年がいた
しかしある日人生を大きく変える事件が起きた・・・

あたりは血だらけ。

そんな中一人の少年は逃げていた。

どうやらリリアナという組織が襲撃してきたらしい。

整備の仕方やMT、ノーマルやひろつたハイエンド型ノーマルの操縦の仕方を教えてもらった師匠とも言える人もなくなってしまった。

今少年は物置に隠れている

（なぜ、なぜ俺たちがこんな目にあわなければならぬ。なぜ俺たちはクレイドルに住ませてくれなかつた！なぜこんなに理不尽なんだ・・・）

そう少年は思つた。

「食糧庫とノーマルのパートを探せ！あとは好きにしやー！」

物置の外から聞こえた

そのあとに銃声、叫び声が聞こえる。

少年は耐えられなくなり、外に飛び出した。

走つたとにかく走つた

後ろから銃声と悲鳴が聞こえていたがとにかく走つて逃げた

ついに走れなくなり息を切らしながら立ち止まつた。
逃げていたと思つたら逆にリリアナがきた方向に走つてしまつてい
たのだ。

「おこー！そこで何をしてるー？」

気付かれた

とつさの判断でリーダーが乗っていたと思われるハイエンド型ノーマルに乗り込み起動する

そしたら騒ぎを聞きつけたリリアナが次々と少年が起動に手間取っている間に

少年は起動途中的ハーマルをフレードで一度と立てないよう」口く
ヘビートに直撃させていく

「おー! 同士がやられたぞー。」

起動が完了したノーマルが次々と撃つてくる

「だれだ、リーダーのACに乗つてゐやつはー。」

そう言って撃つてくるノーマルにミサイルを発射

命中。しかし敵弾が右肩が吹き飛ばされる

ミサイルが機体に命中する

(状況は不利ここは逃げるか)

ブースターを最大出力で吹かし、空域を離脱する。

しかしスナイパーライフルを持ったノーマルに脚部の間接という脆弱な場所を狙撃され
右足がまったく使い物にならなくなる。

姿勢制御をマニュアル操作で行うことにより立て直す。

そのままこの地獄をぬけだす

あのコロニー（地獄）からだいぶ遠くにきた

少年ももう大丈夫だと思いとりあえず
機体を着地した。

そして少年はよひび遊れたのか「クペックの中でもう寝てしまつた

第一話（後書き）

主人公まぬけ・・・
まあ、あんな状況だつたら仕方が無いけど

第一話 ラインアーチ襲撃（前書き）

8／31大幅修正というか書き直し
かなり気に入らなかつたので
10／08心情表現が少ないと感じたので修正中

第一話 ラインアーク襲撃

件名：ラインアーク襲撃

依頼者：企業連

ミッションを連絡します。

ラインアークに展開する、守備部隊を排除してください
ご存知の通り、ラインアークはクレイドルに賛成しない反体制勢力
です

我々は、平和的な話し合いを求めてますが、

彼らは、頑なにこれを拒み、攻撃的な態度を崩しません。
このミッションは、話し合いのための示威行為です。
力をちらつかせた交渉は、我々の本意ではないのですが
この際は仕方ありません

なお、ラインアークの主戦力、ホワイト・グリントは、
離れた場所で作戦行動中です。心配は要りません
失礼ながらこれはあなたの試金石でもあります

確実なミッション遂行を期待してます

「ミッション開始 ラインアークの守備部隊すべて排除する」

「了解、ラインアークの守備部隊を排除する」

「企業のネクストだと…誕生、こんなときに限つて」

ミッション開始！

ストライドは前にいる複数のMTを拡散ミサイルをMTに複数ロッ
クし撃つ。

すべてのMTに直撃し爆発する。

ストライドはブースターで飛び、右側の橋に着地する。

前方にMTとノーマル部隊を確認

まず邪魔なMTを先にアサルトライフルで排除
ノーマルに拡散ミサイルでロックオンし、撃つ。

ノーマル一機破壊

オーバードブーストを起動、体にGがかかる。

ノーマル、ブレードレンジ内に入つた！

すかさずオーバードブーストを切りブレードを振る。

二機目破壊

そしてクイックターンして近くにいるノーマルにアサルトライフル
をコアに向かつて撃つ。

三機目破壊

これでこの橋のノーマルは全滅。

「くつ、通常兵器では、太刀打ちできん」

「ノーマルはまだなのか！」

左の橋にクイックブーストで飛び移る。

前に出てるノーマルにアサルトライフルで破壊

あと一機

「ぐ、来るなあ！…」

といつて一機のノーマルが近距離でミサイルを発射
かまわず弱めのクイックブーストで急接近、斬る
ノーマル沈黙。

「ぐう、こうなつたら道ずれだ！」

ノーマルが接近、自爆する。

しかしストライドは無傷だった。プライアルアーマーに防がれたのだ

「全目標の排除を確認ミッショソ完了だ
よくやつたな、ほぼ完璧だ…とは言え、あまり調子付くなよ敵
が弱すぎたのだからな」

「了解、帰還する」

(一度目の戦闘…だが人を殺したのに何も思わなかつた俺はおかしいのだろうか…
人は何のために生き、何のために死ぬのか…そして自分は何のために戦つて何をなそうとしているのか…わからない…が今は前に進むしか道は無い…)

第一話 ラインアーク襲撃（後書き）

機体はオーギルです

分からぬ人はオーギルで検索

第三話（前書き）

ああたしー

第三話

「そりゃあお前、カラードに行かないのか？」

突然聞かれる

そして返事する

「いや、行きません。だつて下手に仲良くなつて戦場で敵になつて出できたら撃てるかわかりませんから」

「そりゃか・・・だがカラードからオーダーマッチの誘いが来ているがどうある？」

「」し考えて言つた。

「行きます。ネクスト同士の戦闘はこの先おそらく避けられないことですので少しでも慣れておいた方がいいと思いますので」

「よつー名無しの新入り！俺はチャンピオン・チャンプってんだ。
よろしくなー！」

大柄な男が言った。

「ああ、 ジョルジノよろしく頼む。」

両者がネクストの「クピットを模したシユミレーターに乗り込む。そして、AMSが接続されると同時に田に砂漠がうつる。

相手のネクスト、キルドーザーがオーバード・ブーストで突っ込んでくる

「どうりやああああああ！」

右手でキルドーザーがドーザーで殴ろうとする。

ストレイドは対応できずドーザーで殴られた

キルドーザーが左手のドーザーでもう一度殴ろうとする

「どうりやあおおおこー！」

「・・・！」

しかしそは対応し後にクイックブーストで避け、

地面を蹴り空中からライフルと拡散ミサイルで反撃する。

地上にいるキルドーザーが高速ミサイルとグレネードを撃つてきたミサイルをライフルで追撃するが、グレネードがストレイドに命中する

「ぐつ・・・・・！」

オーバード・ブーストで急接近、ブレーキを振る！
キルドーザーも両手のデーターザーで殴りつくる

キルドーザーが停止する

どひやり勝利したのはストレイドのようだ

「よかつたな！ 勝てて！」

負けたのに悔しそうにせず元気にチャンピオン・チャンプスがほめた

「ありがとう。 じゅじゅいい戦いだった」

じゅして初めてのオーダーマッチは終了したのだった。

第四話（前書き）

PSPからの投稿

オーダーマッチの帰り、主人公はなにを思ったのか

輸送機から外の景色を見る。

砂漠。 そう人類はどうなるのかわかつていたにも関わらず
人類は利益を求め、 終わりなき開発、 大気汚染、 戦争による有害物
質の発生、
そしてコジマ粒子。

結果地球の北極はなくなり、 それにより海の海流はなくなり、
魚介類は死滅。

オゾン層もほとんどなくなり、 動植物もすぐに異常をきたし、
壊滅した状態にある。

それでも人類は傷ついた地球にかまわずコジマ粒子を振りまき
さらに地球を追い込んでいる。

(人類は危機に立たされている。なぜこうなったのか、
企業のせいではないか？)

企業は利益のためにしか動かない。だから人として
動けない。この、人としての本質を忘れたエゴの塊のような
物を人類から排除すれば人は・・・)

(ならば、なんとしても生き残り、

俺が人類の重りを断ち切らなければ・・・!)

カラードから帰るときある一人の青年は生きる理由を見つけ、ある
決心をしたのであった。

第四話（後書き）

pcから投稿が多くなったそいつです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1706w/>

アーマードコア イレギュラーの軌跡

2011年11月17日17時41分発行